

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 10 日

札幌市立

手稲東小学校

1 今年度の重点目標

授業づくり～課題探求型の学習の成立
集団づくり～学校だから育つ「かかわる力」

2 本年度の経営方針

○A(挨拶)K(感謝)E(笑顔)の花あふれる学校
○すべての子が自分は大事にされていると感じる学校

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	A(あいさつ) K(感謝) E(笑顔)	AKEを目指した取組、協働、子どもの姿	A	保護者・教職員両アンケートにおいて肯定的な回答が高い。次年度、あいさつのAを「ありがとう」のAとしてK(感謝)に重点を置く実践を行う	A	A
学校関係者評価委員会による意見		あいさつも大切にしながら、感謝の気持ちを育む教育を今後も続けてほしい。AKEが広く浸透し、子どもたちの目標になっている。				
人間尊重の教育	「一人一人が大切にされている」と実感できる学校づくり	○学習活動づくり、環境づくり、人間関係づくり	A	保護者・教職員アンケートともに80%を超えている。人間尊重を基盤とした、学級づくり、その上でその子も「楽しい」と感じるの授業づくりを協働してきた。今後も、「豊かな心」の育成も踏まえより充実した実践を重ねていく。	A	A
「学ぶ力」の育成	「学ぶ力」育成プログラムの実施	○わかる、できる、楽しい授業づくりに向けて ・研究、研修の充実	A	保護者・教職員アンケートともに80%を超えている。昨年度の反省を生かし「わかる・できる・楽しい」授業作りを目指し、授業研究、学級づくりの研修を続けた。次年度、テーマを絞りAARを意識した授業作りを行う。	A	A
「豊かな心」の育成	「AKE」指導の充実	○一人一人を大切に ・A(挨拶)の指導と深化 ・命、人権尊重の指導 ・いじめの未然防止	A	保護者・教職員アンケートともに80%を超えている。児童・保護者・地域に浸透し、大事な柱となっている。次年度は「K(感謝)」を重点に相互承認・自己肯定感・自己有用感のさらなる高まりを目指す。	A	A
「健やかな体」の育成	「健やかな体」育成プログラムの実施	○A(あせ)K(こつ)E(笑顔) ・運動に親しむ環境づくり ・自治的な活動(委員会) ・食、性に関する指導	B	体力テストから持久力の低下が分かる。体育の運動量を確保する環境づくり・授業改善、中・昼休みの運動に親しむ環境づくりを進める。また、子どもの自治的な活動として委員会発信による「楽しく運動する」ことを続ける。	A	A
いじめ対策	いじめ防止の取組 迅速な組織対応	○いじめ対策委員会対応 ・実態把握 ・情報共有 ・児童理解に係る研修	A	いじめアンケートを年3回実施、実態把握を行った。また、毎月の委員会で、対応方針・経過状況の確認をおこなったことで、重大事態に係るいじめ発生は見られなかった。今後も児童理解・いじめ未然防止の研修を続ける。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	グランドデザインを基調とした育てたい子ども像	○札幌教研を基にしたパートナー校連携 ○適切な引継	A	手稲東中学校運営協議会を設置し、育てたい子ども像を共有し、地域・学校と連携して取り組む。また、春の研究集会をもとに、教職員間で授業改善、児童生徒理解などをテーマに交流を深め相互理解を深める。個人情報も考慮し、適切な中学校への引継を行った。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		次年度も、教科指導の充実と体験的な学習、多くの人から学ぶ機会の充実を目指して、子どもたちの成長につなげてほしい。先生一人一人のよさを発揮できる取組、少人数指導など児童の学力に応じた学習形態など、いろいろな工夫がされており、子どもの興味関心、学力を高める授業がされていると感じる				
学校独自に設定する分野	地域学校協働活動		A	夏冬休みを中心に、地域の環境を活用した自然体験活動を行った。また、夏休みの学習会、6年生のキャリア教育など、地域人材・卒業生の活用を図った。	A	A
	働き方改革		B	すぐる配信となり印刷業務の軽減が図られた。時差出勤を積極的に取得し働き方改革が進められている。一方、学校全体で退勤時刻がまだ遅くい。その中には、業務時間外への対応がみられる。次年度は、電話、インターホン、少年団学校利用等の対応を17:00としていきたい。	A	A
	教育課程の充実		A	「本物の体験」から得られる学びは大きい。各学年で現地学習やゲストティーチャーによる学習など多くの学びがあった。一方、授業時数、スキー学習の実施方法、教職員の研修時間の確保など、児童・教職員が安全安心に過ごすことができる学校環境を整える。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		働き方改革は、ぜひ進めるべき。心身共に健康でなければ、良い教育を行うことはできない。保護者対応など、大変だと思うが、子ども一人一人を大切にしていける活動を続けてほしい。時習館やCSなど地域と連携しながら、子どもの自治的な活動を行っていく。ぜひ、中学校とも連携し進めてほしい。				